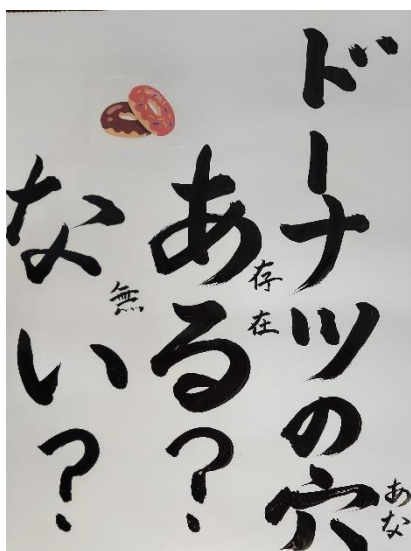


慶念寺々報

つなごり

慶念寺の掲示板 第二十四回



「ドーナツの穴 ある？ない？」

今月の掲示は、近くを通る子どもたちにも考えられるように簡単に書いたので、意図していることが分かりにくいかもしれません。「ドーナツの穴は存在か、それとも無か」と言ったら考えやすいでしょうか。

ドーナツという言葉からは、穴の開いた輪状のものを想像していただけるかと思えます。しかし、穴自体はドーナツを定義づける条件ではありません。

穴のないドーナツもあります。では、「穴の開いているドーナツの穴は『無』なのか」と言われると、いかがでしょうか。やはり私たちはドーナツに空いた穴を認識し



ているのです。では、ドーナツの穴は存在しているのか。手に取って触れるわけではありません。穴だけを取り出すこともできません。ドーナツの穴はあるのか。それともないのか。これは哲学的思考の入り口になる問なのだそうです。

ドーナツと穴の関係を考えると、ドーナツが「存在」し初めて私たちはドーナツの穴を「認識」するんです。しかし、一口食べて輪ではなくなくなってしまったらそこに穴は認識できなくなる。もちろんあったことは確認してはいますが、もうそこに穴を認識することはありません。

これ、言葉遊びや頭の体操のようなもので、追及していけば哲学的な思考なのかもしれません。しかし、これを仏教で考えてみたらどうなるか。

それは「ドーナツも穴も互いに影響を与え合って存在している」となります。穴があるから輪状のドーナツがあり、輪状のドーナツがあるから穴がある。と言えるのではないのでしょうか。

私たちの認識できる世界には、独立して単体で存在するものではありません。不変の実体をもつ存在はないのです。私という存在もまた、様々な因縁によってつど姿かたち、見え方が変化していきます。普段一緒に生活している家族が、お仕事中は全然違う人に見えることもありますし、逆もまたしかりです。一定期間を経て変化していくのではなく



常に変化を続けているのです。お坊さんとしてふるまっている私と、家族と一緒にいる私は、同じ私ですが全然違った私なのです。

そのようにして、沢山のご縁を経て今の自分がある。沢山のおかげさまで今があるのです。子どものころの自分と今の自分では全くの別人。ドーナツがドーナツの穴を穴たらしめているように、沢山のご縁が私を私たらしめている。

今まであった沢山の出会い、別れ。嫌な思い出も良い思い出も、沢山のことが「今」作り上げてくれているのです。じゃあ、「変わらぬ実体がないなら私という存在はからっぽか？」というと、決してそんなことはありません。むしろ、沢山のご縁がより合わり、私を形作っているのです。

沢山のご縁に支えられて「今」があり、支えられた「これから」がある。「おかげさまで」「有難い」今があるドーナツの穴を眺めながらそんなことを考えておりました。

川崎市仏教会の総会がありました



慶念寺は、全日本仏教会の下部組織である川崎市仏教会に所属しております。その川崎市仏教会の総会・研修会が六月十四日に行われました。住職は、今年度川崎市仏教会の庶務理事を務め

ている関係で、総会の前後はあわただしく過
ごしております。

総会の資料の作成から始まり、百三十八カ
寺の所属寺院への案内の送付、出欠の集計
と、休日だろうがほかのことをしていようと
気が休まらない日々でした。

何とか総会も終わり、研修会。今年度の研
修会は、会長たつての希望で、世界宗教者平
和会議日本委員会議長をはじめとして様々
な役職を担っていらっしゃる浄土宗心光院の
戸松義晴師をお招きして、「寺院の適正な管
理運営・代表役員としての社会的責任と檀信
徒から期待される住職像」と題してご講義
をいただきました。

宗教法人を取り巻く法律が変わってきてい
ることや適切な税務や会計処理について。そ
して、家ではなく個人個人の信教の自由を尊重
した寺院運営を心がけていくことの重要性を
学び、広範囲は寺院の社会的責任や、社会か
ら寺院がどのように見られているのかなど、
具体的な数値を見ながら学びました。

終活講座を行いました



この度、慶念寺の新た
な試みとして終活の公開
講座を行いました。ご講
師に築地本願寺シニアマ
ネージャーの村瀬雅俊師
をお招きし、
終活に必要な制度や法
律について、エンディン
グノートを実際に書きな
がら講座を行いました。

講義の中心となったのは、「今」のこと。
医療や薬、同居家族（動物含む）など、多岐
にわたりました。特に今飲んでる薬のお話
は災害時の避難生活にも役立つものでした。
気になる相続についても、とても詳しく易し
くお話ししていただきました。

住職も、実際に慶念寺にあつた相談などの
実例を通して、意思を示しておくべきこと、
家族に任せることなどをお話いたしました。

そして、家族と話をしておくことが何より
大切だとお話をいたしました。参加してくだ
さった方も熱心に耳を傾けてくれ、とても充
実した会になりました。

今年も「家族葬ホールのほりと」 でお盆の法要を行います!



今年もお盆の法要のみ慶
念寺から場所を移し、登戸
駅からすぐの「家族葬ホー
ルのほりと」で行います。
十分に広さもあり、席数
もしっかりと確保できま
す。昨年も、ご家族やご親
戚の方とご一緒にお参りく
ださった方が多くいらっし
やいましたので、ぜひお誘

いあわせの上お参りください。特に初盆の
方、三回忌を終えられた方のご参拝くださ
い。過去帳や法名軸、お位牌などをお持ち
いただきましたら、仏前にご安置してお参りを
させていただきます。詳細は別紙ご案内をご
覧ください。

法要後には、会場にお供えしてあるお花を

お仏壇やお墓にお供えいただけると、お
土産としてお配りをいたします。ぜひ、慶念
寺のお盆の法要にお参りして、その足でお墓
参りや、お仏壇でのお参りをし、お花をお供
えいただければ幸いです。また、今年もこの
お盆の法要に際して「おてらおやつクラブ」
を行います。こちらへのご協力も宜しく願
います。

おてらおやつクラブに ご協力をお願いいたします!

おてらおやつクラブとは、お寺に供えられ
る「おそなえ」を仏さまからの「おさがり」と
して子どもたちを支援する団体のもと、経済
的に困難な状況にあるご家庭に「おすそわけ」
する活動団体です。慶念寺でも毎年お盆の法
要に併せておすそわけをしています。

夏休みにはいり、給食が無くなると、子ど
もたちが家庭で過ごす時間が増え経済的な負
担が大きくなります。一つでも多くのご家庭
を支援するために、お盆の法要に向けておそ
なえをいただければ幸いです。例としては

- ・ お米（二キログラム程度の小分け）
- ・ 常温保存のできる食品（溶けないもの）
- ・ 文房具などの日用品（新品のもの）

食品は賞味期限が二週間以上あるものでお
願いいたします。缶詰やレトルト食品など、
子どもだけで食べられるものが喜ばれるよう
です。お菓子などは、小分けのものをお供え
いただけますと、より多くの家庭に支
援をすることができます。

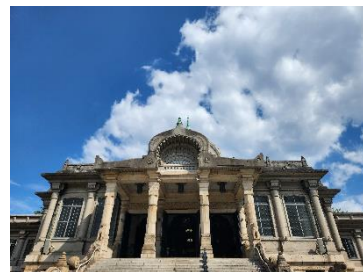
お供えに関して疑問質問がありまし
たら気兼ねなくお尋ねください。



らつぷ
てやら
おおク

築地本願寺へ奉告参拝に行きます

七月二十五日(木) 築地本願寺へ、慶念寺の宗



教法人取得の奉告参拝をいたします。築地本願寺は浄土真宗本願寺派の首都圏寺院の取りまとめをする寺院です。この度、法人取得にご協力いただきました門信徒の皆様への御礼を兼ねまして、特別なお参りを計画しております。

十五時より本堂にて参拝し、閉門後には、一般参拝者立ち入り禁止区域に入って説明をしてもらう、「築地本願寺ツアー」を予定しております。滅多にできない経験となりますので、ぜひご参加ください。別紙申込書の詳細をご覧の上お申し込みください。

発送作業のお手伝いをお願い

来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和六年七月二十三日(火)

十四時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

終了後、ご希望の方は駅までお送りいたします。

みんなでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々子供たち参戦してみんなで楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。



仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかねる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直接お願いいたします。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

帰敬式のおすすめ(法名)

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。

次回の法話会は

七月十四日(日) 十時半・十三時から家族葬ホールにて「慶念寺お盆の法要」を行います。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

編集後記

三年前から、お盆の法要を登戸駅近くの「家族葬ホール」のぼりと」をお借りして勤修しています。社会の風潮が密を避けるようになっていった際に、「より広い場所」でと思ったのが始まりです。慶念寺の本堂よりずっと広いので、ご家族皆様でお参りいただけます。ぜひ、そろってご参拝ください。

そして、二十五日の法人取得奉告参拝。こちらも昨年度末から計画しており、ようやく実現にこぎつけることができました。「慶念寺とご縁があるからできる」という体験を皆様にしていただけるように計画しております。

そんな感じで行事が目白押し、やりたいと思ってしまうことが、少しずつ形になっていくのはとてもうれしいことです。まだまだやりたいこと、計画中のことがありますので、お楽しみに！



浄土真宗本願寺派 歓喜山 慶念寺

〒214-0012
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com
ホームページ URL
https://kyounenji.com/



慶念寺ホームページ QR コード